

令和8年度 通信教育実施計画

松陰高等学校（本校／各学習センター）

教科	科目	単位数	履修上の留意点	
地理歴史	日本史探求	4	選択科目	
指導目標	(1)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、地理的条件や世界の歴史と関連付けながら総合的に捉えて理解するとともに、諸資料から我が国の歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。			
	(2)我が国の歴史の展開に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。			
	(3)我が国の歴史の展開に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に探究しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の歴史に対する愛情、他国や他国の文化を尊重することの大切さについての自覚などを深める。			
教科書		副教材等	添削指導	面接指導
日本史探求			12回	4単位時間
多様なメディアを利用した学習による 面接指導時間数の減免実施の有無		☐ 実施している ☒ 実施していない	多様なメディアを利用した学習による減免後の面接指導時間数	該当なし
添削指導（レポート）				
回	学習内容		対応する 面接指導の回	提出期限
1	律令国家の形成と古代文化の展開のうち、大和王権と古墳文化から飛鳥の朝廷と文化までについて理解する。東アジアとのかかわりの中での日本史のとらえ方について、具体的な場面も含めて理解する。		1	5月13日
2	律令国家の形成と古代文化の展開のうち、律令国家の形成と白鳳文化から平城京と天平文化までについて理解し、判断する。 摂関政治と貴族文化について理解する。		1	5月13日
3	中世社会の成立および中世社会の展開や提示された分の内容について、理解する。 指示された条件に従い、必要な情報を選択し、文章としてまとめる。		1	6月6日
4	南北朝の動乱と室町幕府の成立および倭寇と東アジア国際交流について、理解し判断する。室町時代の社会と経済活動および自立する戦国大名について、理解する。		2	6月6日
5	近世社会の展開について、提示された文の内容を理解し、判断することができる。 織豊政権の政治・経済政策、貿易や対外関係などを基に、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、中世から近世への時代の転換を理解する。		2	7月4日
6	幕藩体制の確立について、理解し、判断する。 法や制度による支配秩序の形成と身分制、貿易の統制と対外関係、技術の向上と開発の進展、学問・文化の発展などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、幕藩体制の確立、近世の社会と文化の特色を理解する。		2	8月8日
7	近世社会の成熟と幕藩体制の動揺について、理解し判断する。 幕藩体制の変容、近世の庶民の生活と文化の特色、近代化の基盤の形成を理解する。		3	10月21日
8	近代社会の幕開けについて、理解し判断する。明治維新、文明開化の風潮、学問の発展や教育制度の拡充、自由民権運動などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、近代的制度の導入、アジアや欧米諸国との関係を理解する。		3	10月21日
9	近現代社会の展開の中の、国民国家と資本主義の成立について、理解し判断する。 大日本帝国憲法の制定、条約改正、日清・日露戦争、産業革命の展開などを基に、立憲体制への移行、国民国家の形成、産業の発展の経緯と近代の文化の特色を理解する。		3	11月11日
10	近現代社会の展開の中の、両大戦間期の日本について、理解し判断することができる。恐慌と国際関係、軍部の台頭と対外政策、戦時体制の強化と第二次世界大戦の展開などを基に、第二次世界大戦に至る過程及び大戦中の政治・社会、国民生活の変容を理解する。		4	11月11日
11	近現代社会の展開の中の、占領と改革について、理解し判断する。占領政策と諸改革、日本国憲法の成立、戦後の経済復興などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、我が国の再出発及びその後の政治・経済や対外関係を理解する。		4	12月5日
12	近現代社会の展開の中の、アジア情勢の変化と経済大国日本について、理解し判断する。アジア諸国との関係などを基に、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめ、現代の政治や社会の枠組みを理解する。		4	1月20日
面接指導(スクーリング)				
回	単位時間	学習内容	実施場所	実施日
1		人類が日本列島で生活を営み始めた時代からの歩みを歴史的資料を基に学習する。 中世の日本と世界に関わる諸事象について、見通しをもって学習に取り組み、課題を追究する。	各学習センター	5月
2		室町幕府はどのようにして政治体制を整え、社会の経済活動はどのように発展したか学習する。織豊政権との比較やアジア情勢に着目して主題を設定し、史料の根拠を示しながら、歴史の転換点や意味を多角的に考察・表現できる。	各学習センター	7月
3		対外関係の変化、開国、幕藩体制の崩壊、新政府（明治維新）の成立による時代の転換を理解し、文明開化、教育制度の拡充、自由民権運動、欧米やアジア諸国との関係など、近代的な仕組みを学習する。	各学習センター	10月
4		占領政策と日本国憲法の成立、独立の回復、高度経済成長を経て、戦後の政治・経済や対外関係がどう築かれたか理解し、国際化（社会・経済・情報）やアジア諸国との関係をふまえ、現代の政治体制や国民生活の変化を学習する。	各学習センター	12月
多様なメディアを利用した学習				
計画段階では実施予定なし				
試験				
回数	試験範囲		実施場所	実施日
1	レポート1～6		各学習センター	9月
2	レポート7～12		各学習センター	2月
学習の成果に係る評価及び単位の修得の認定に当たっての基準				
添削指導、面接指導、試験の結果を総合的に評価する。				
所定の添削課題の提出、面接指導の受講、試験の受験を満たし、学習成果が認められる場合に単位を認定する。				
その他				
各学習センターでは、本校の通信教育実施計画及び指示に従い実施する。施設状況や生徒の状況等に応じて日程・実施方法を調整する場合も、本校の承認又は指示のもと、指導内容・評価・単位認定基準に変更が生じない範囲で対応する。				